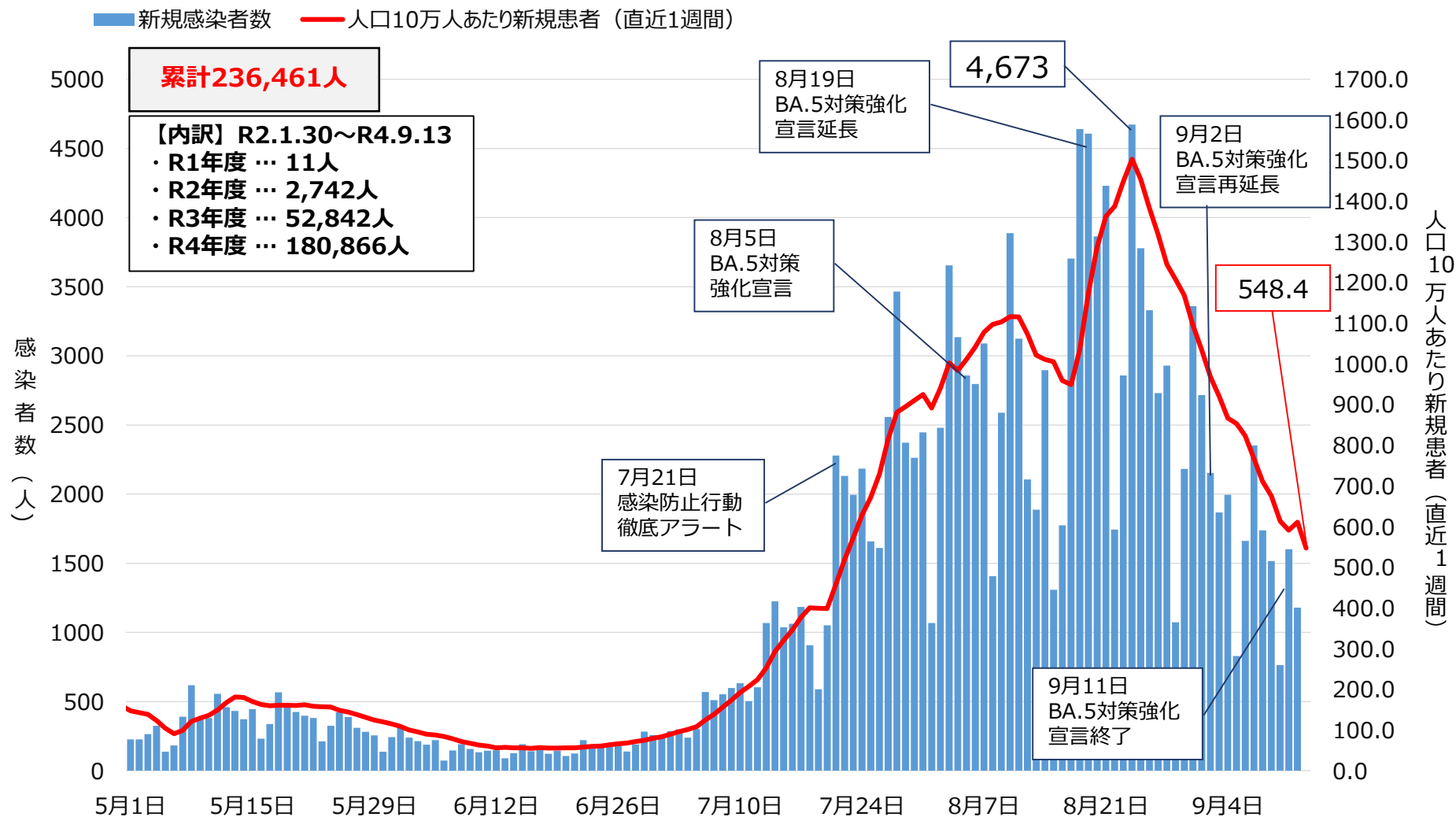


# 新型コロナウイルス感染症の 県内発生状況等について

# 県内患者発生状況 (n=236,461、R4.9.13時点)

◆人口10万人あたりの新規患者は、8月下旬から減少傾向



# 新規感染者数及び前週同曜日比の推移

上段：新規感染者数  
 下段：前週同曜日比  
 ※前週同曜日比増は、セル着色

8月	14	15	16	17	18	19	20	週合計
	2,896 人	1,308 人	1,774 人	3,704 人	4,640 人	4,606 人	3,864 人	22,792 人
	(0.94)	(0.93)	(0.69)	(0.95)	(1.48)	(2.19)	(2.05)	(1.26)
	21	22	23	24	25	26	27	週合計
	4,229 人	1,744 人	2,858 人	4,673 人	3,779 人	3,330 人	2,731 人	23,344 人
	(1.46)	(1.33)	(1.61)	(1.26)	(0.81)	(0.72)	(0.71)	(1.02)
9月	28	29	30	31	9/1	9/2	9/3	週合計
	2,930 人	1,074 人	2,183 人	3,359 人	2,717 人	2,154 人	1,868 人	16,285 人
	(0.69)	(0.62)	(0.76)	(0.72)	(0.72)	(0.65)	(0.68)	(0.70)
	4	5	6	7	8	9	10	週合計
	1,995 人	830 人	1,661 人	2,353 人	1,738 人	1,517 人	764 人	10,858 人
	(0.68)	(0.77)	(0.76)	(0.70)	(0.64)	(0.70)	(0.41)	(0.67)
9月	11	12	13	14	15	16	17	週合計
	1,608 人	1,186 人	542 人					3,336 人
	(0.81)	(1.43)	(0.33)					(0.31)

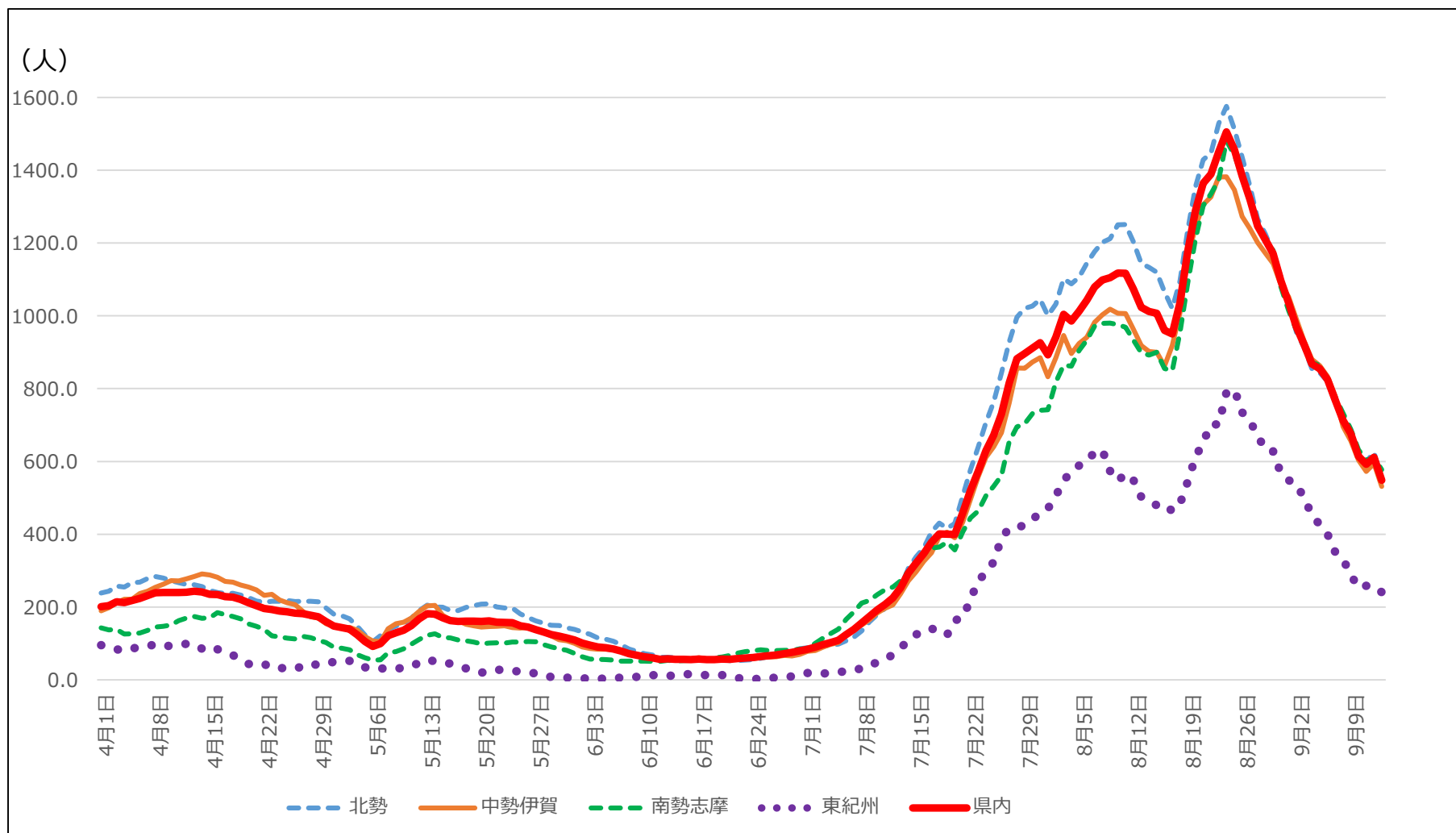
直近1週間 (R4.9.7~9.13)

- ・人口10万人あたり新規感染者数：548.4人
- ・前週1週間との比較：0.67倍

※直近1週間の新規感染者数合計：9,708人  
 前週の新規感染者数合計：14,584人

## ◆ 全地域とも7月上旬から8月まで増加し、8月下旬から減少傾向

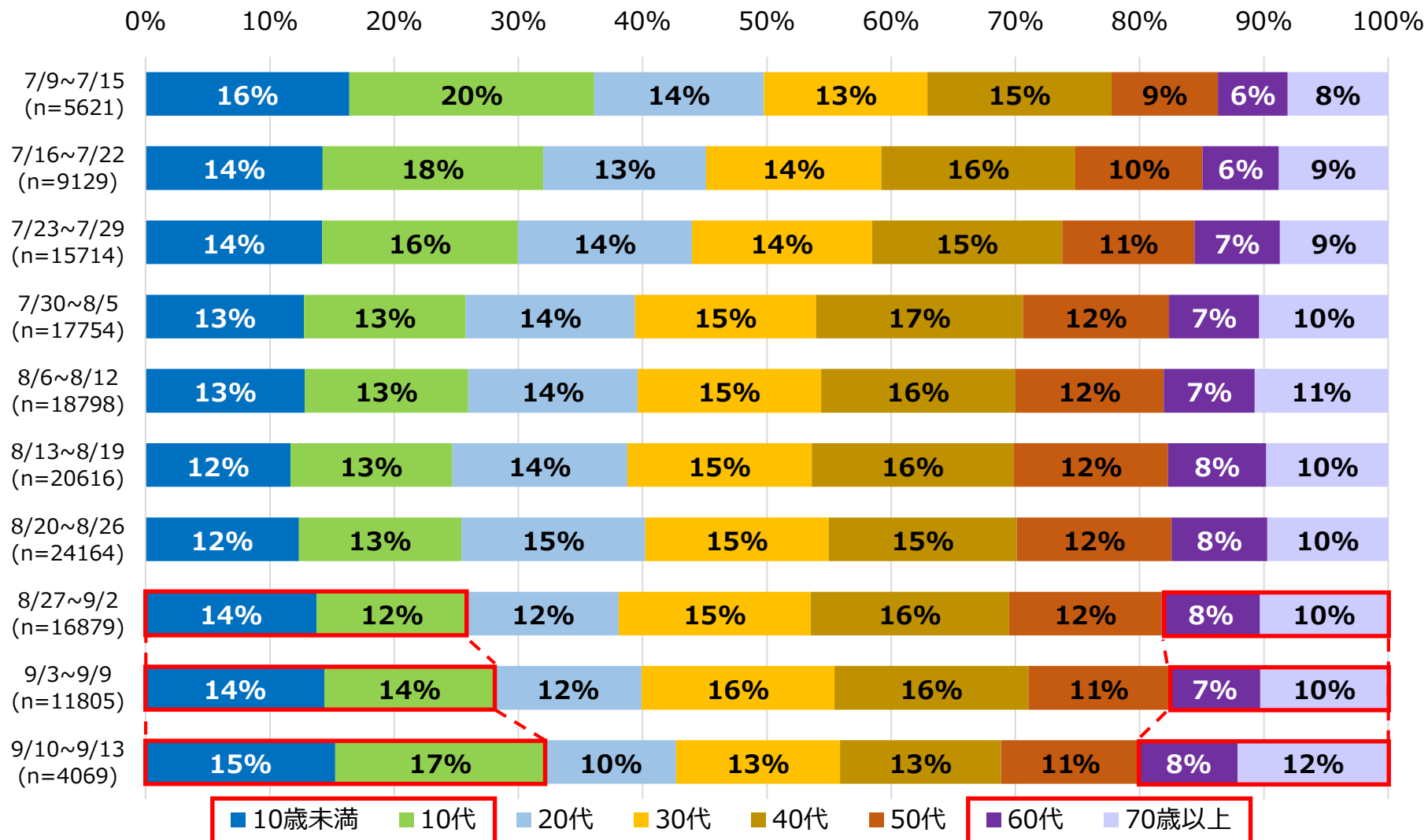
人口10万人当たりの新規患者数（直近1週間）



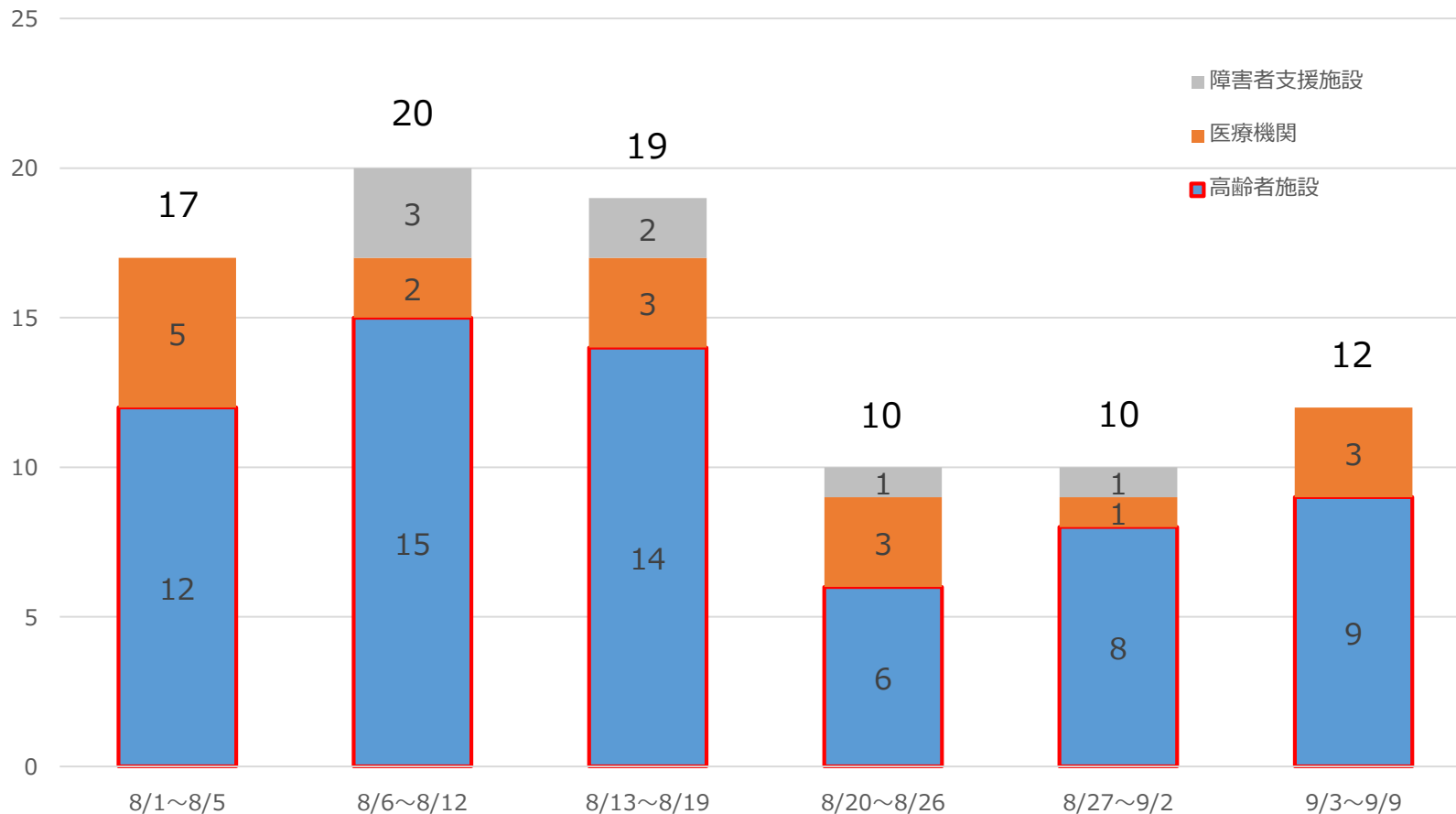
# 年齢別患者発生状況

集計期間：R4.7.9~R4.9.13

## ◆ 直近では20歳未満と60歳以上の割合はともに増加

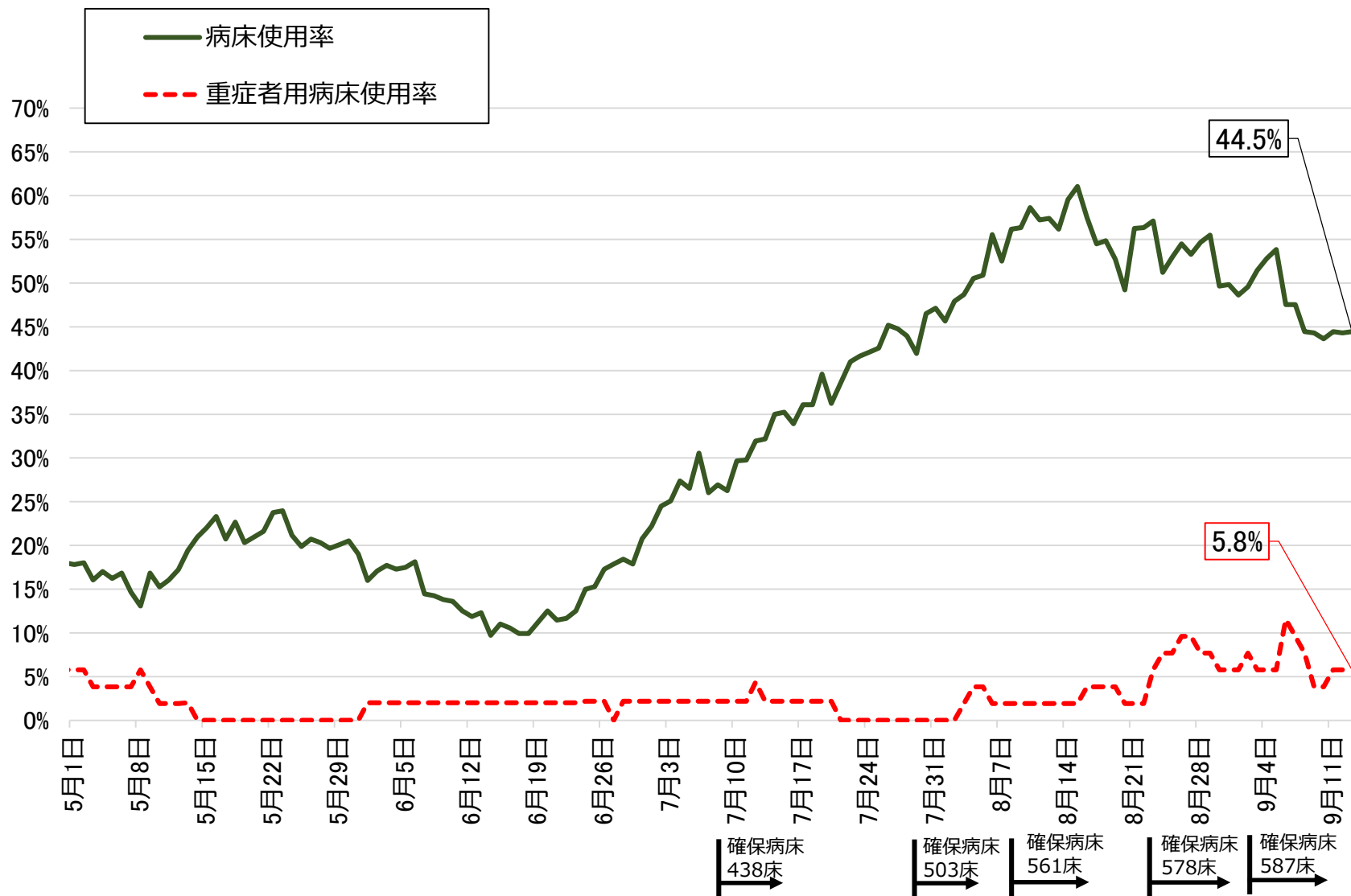


- ◆ 8月からのクラスター発表件数は**88件**（公表方法変更後※）
- ◆ 高齢者施設での発生が**約7割**を占める



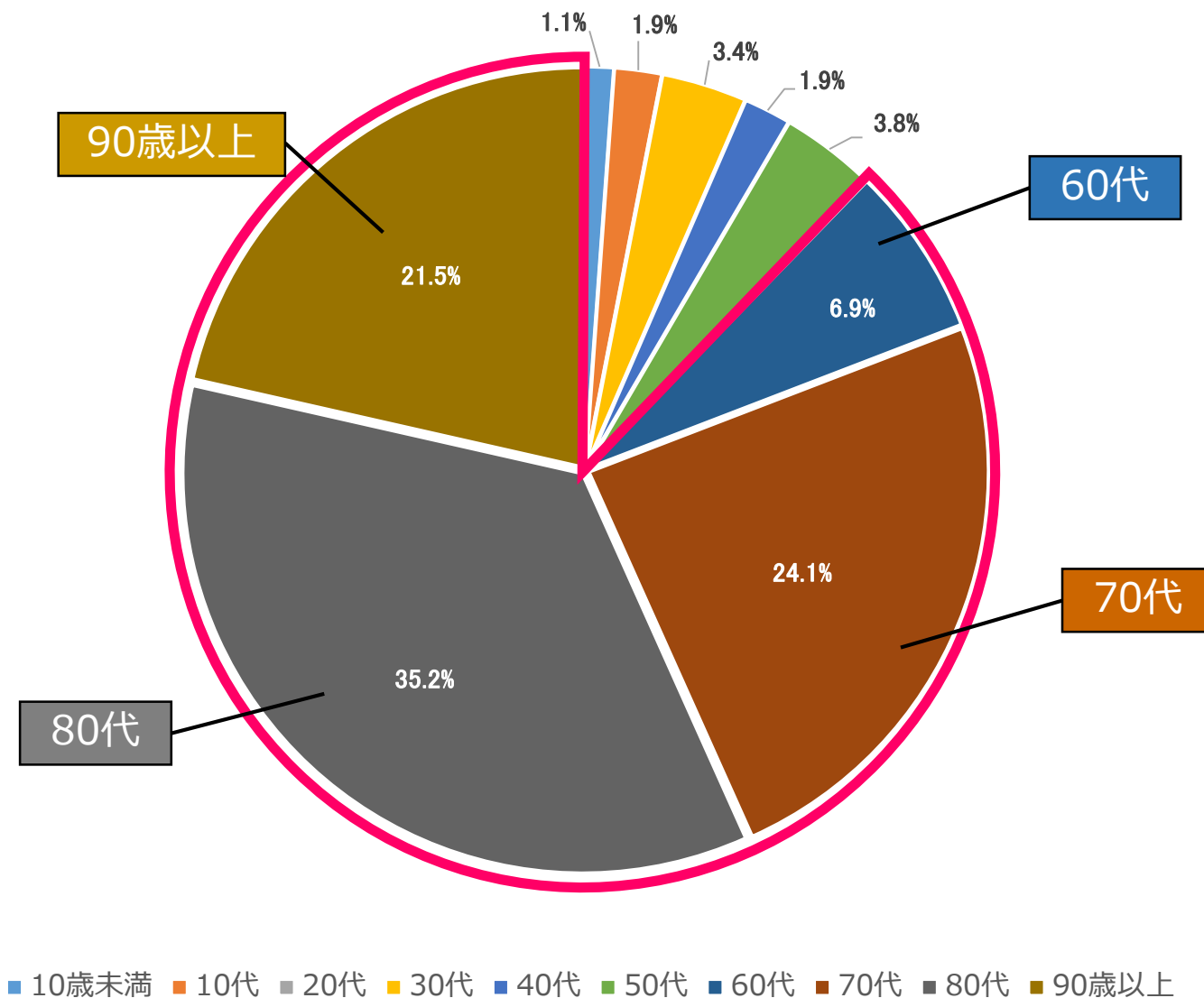
※8/31発表分より集計期間において移動7日間合計で10名以上の感染者が確認されたハイリスク施設（高齢者施設、障害者支援施設、医療機関）の一覧に公表方法を変更

◆ 病床使用率は**44.5%**、重症者用病床使用率は**5.8%**(重症者3名)



# 年齢構成別入院患者の状況 (n=261、R4.9.13時点)

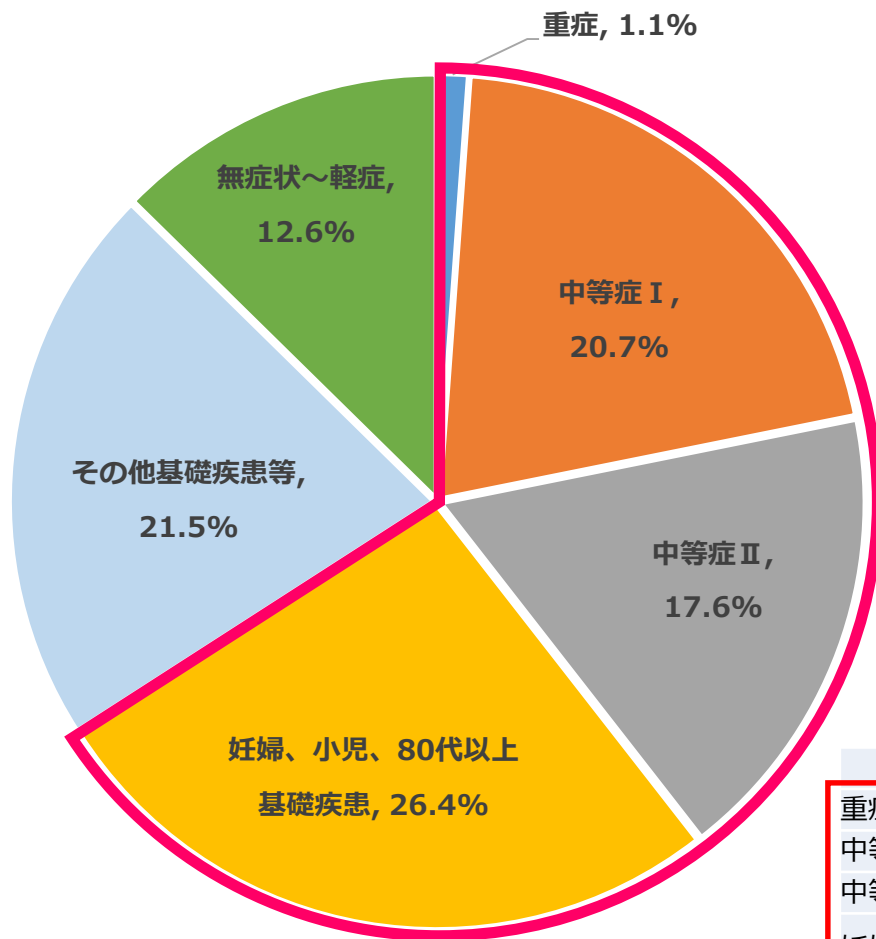
◆入院患者の約88%は高齢者（60歳以上）が占めている





# 症状別入院患者の状況 (n=261、R4.9.13時点)

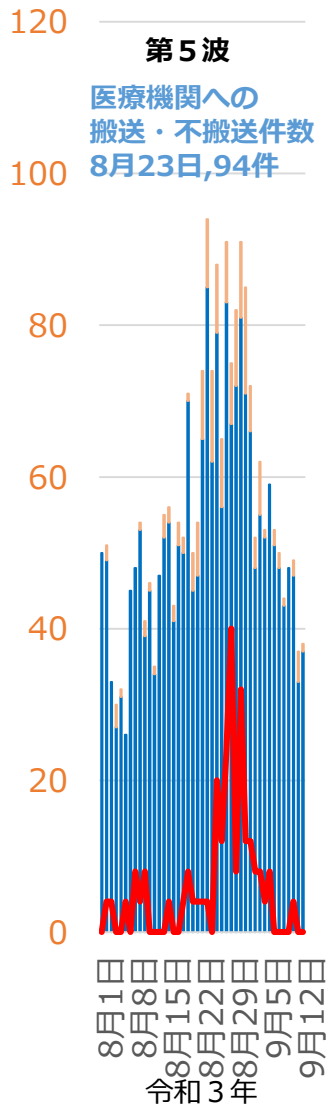
◆入院患者のうち、中等症以上等の入院医療を必要とする患者の割合が約66%を占める



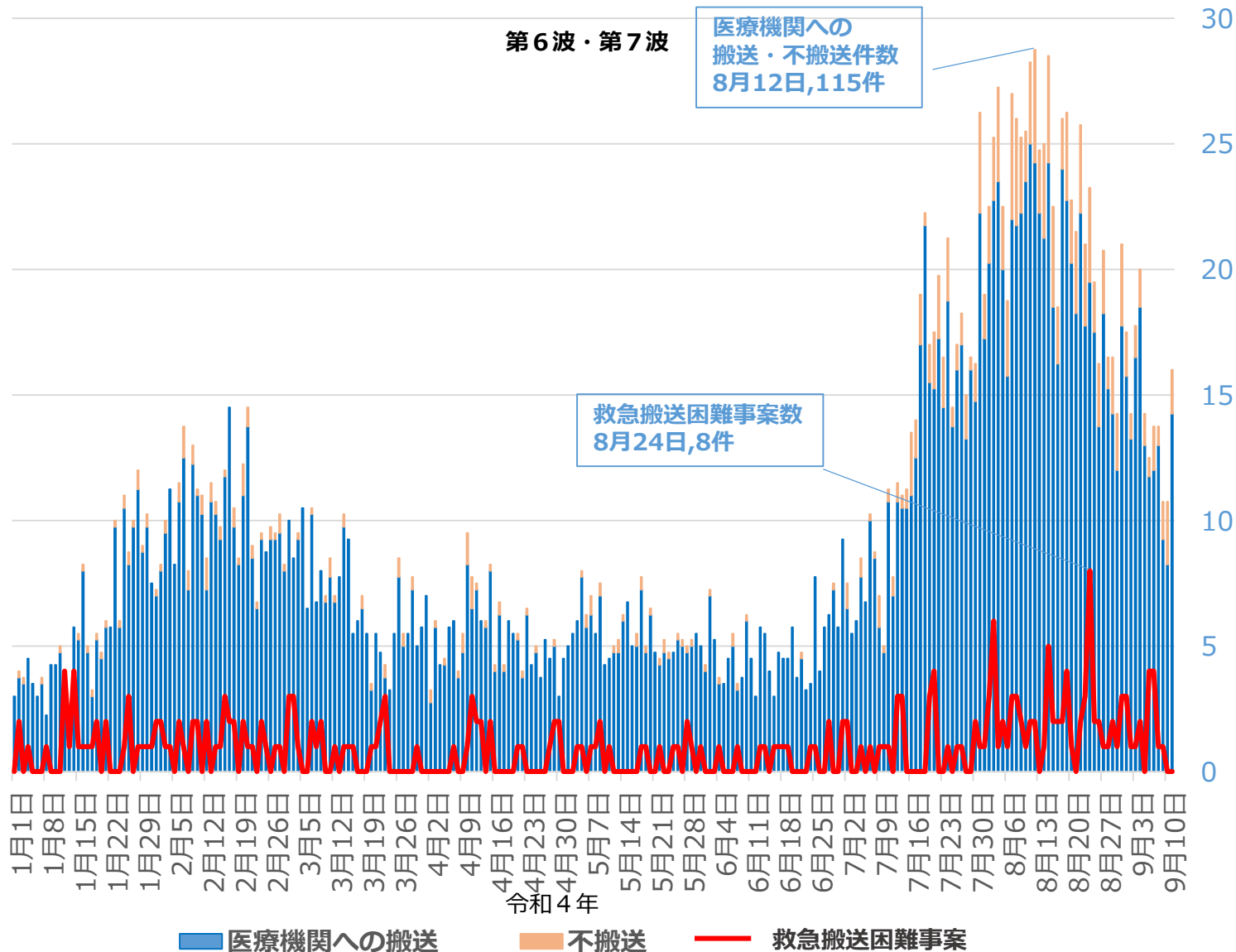
症状内訳	人数	割合
重症	3	1.1%
中等症 I	54	20.7%
中等症 II	46	17.6%
妊婦、小児、80代以上基礎疾患	69	26.4%
その他基礎疾患等	56	21.5%
無症状～軽症	33	12.6%
計	261	100%

# コロナ・コロナ疑い患者の救急搬送件数の推移 (R4.1.1~R4.9.11)

(救急搬送・不搬送件数)



(救急搬送困難事案件数)



※ 救急搬送困難事案：受入照会回数4回（4回目で搬送先医療機関が決定した事案）以上かつ現場到着から現場出発までの時間が30分以上の事案

# 発生届の限定（緊急避難措置）の実施について

## 目的

- ①医療機関の事務負担軽減のため
  - ②必要な方へ確実に医療が提供される体制をつくるため
- 令和4年9月9日より、発生届の限定を実施。

## 発生届の対象者は、以下の4類型に限定

- ①65歳以上の者
- ②入院を要する者
- ③重症化リスクがあり治療薬の投与または新たに酸素投与が必要と医師が判断する者
- ④妊娠している者

# 発生届が提出されない患者への対応

## <課題>

1. 体調悪化時に、入院調整に今以上に時間を要することとなる。
2. 療養期間通知書が発行できなくなり、医療機関に診断書を求める患者が増える可能性がある。
3. 現在の療養支援体制を継続することが困難になる。  
(宿泊療養・自宅療養者へのパルスオキシメーター貸与や食料支援など)



- ・発生届が提出されない患者の情報「氏名」「生年月日」「居住市町名」を**県独自システム**にて把握
- ・患者に対して、診断時の医師からの説明や県ホームページなどにより、療養上の注意点や、症状が悪化した場合の**お問い合わせ先（かかりつけの医療機関又は保健所）**を案内

# 療養期間等の見直しについて

## 1 療養期間

### (1) 有症状患者

- ・現に入院している者を除き、**発症日から7日間経過し、かつ、症状軽快後24時間経過した場合には8日目から解除**を可能とする。

※10日間が経過するまでは、自主的な感染予防行動の徹底を依頼。

### (2) 無症状患者

- ・変更なし。（検体採取日から7日間を経過した場合には8日目に療養解除）  
※加えて、**5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合には、5日間経過後（6日目）に解除を可能とする**。ただし、7日間が経過するまでは、自主的な感染予防行動の徹底を依頼。

## 2 療養期間中の外出自粛

- ・有症状の場合で症状軽快から24時間経過後又は無症状の場合には、自主的な感染予防行動を徹底することを前提に、食料品等の買い出しなど必要最小限の外出を行うことは可能。

## ①.BA.1対応型ワクチン接種について

### 接種の目的

短い期間である可能性はあるが、オミクロン株に対する感染予防効果や発症予防効果も期待されることから、**重症化予防効果はもとより、感染予防、発症予防を目的**に接種を実施

### 接種の開始時期・対象者等

**9月半ば過ぎ**に前倒しで国内配送されることから、重症者リスクが高い等により、**現在行っている4回目接種の接種対象者**に対して、BA.1対応型ワクチンへ切り替える準備を進める

### 今後の対象者拡大について

**4回目接種の一定の完了が見込まれた自治体**においては、その他の初回接種完了者(エッセンシャルワーカー・年代別等)への接種の移行を行うこと

## ③.小児(5~11歳)3回目接種について

### 接種の目的等

- 小児における重症例や死亡例の割合は低いが、**感染者数の増に伴い重症者数についても増加傾向**
- 時間経過とともに初回接種の発症予防効果は低減するが、**12~15歳では追加接種により発症予防効果が回復**することが確認されており、小児においても同様の効果が期待できる

### 接種対象者等

- 上記により、小児の追加接種対象者を**初回が完了した全ての者**とする
- 接種間隔は2回目接種から少なくとも**5か月**経過した後とする

### その他

- 9月6日政省令改正により**小児に対する努力義務**と追加接種開始

## ②.10月半ば以降の対応方針等

### 対応方針

- 現時点では、初回接種を完了した**12歳以上の全ての住民**を対象に接種を開始することを想定して、**10月半ば**を目途に、接種券の発送等準備を進めること
- すでに送付している3・4回目接種用の接種券も使用可能とすることを想定している

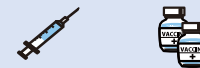
### その他

- 審議会では、重症化リスクが高い等の理由で4回目の対象となる者について、オミクロン株対応ワクチンの接種が始まる前に接種時期となった者は、**その時点で活用できる従来のワクチンを接種することが重要**であると意見があった
- 現在の感染状況を踏まえ、従来ワクチンによる3・4回目接種の実施が改めて呼びかけられた

## ④.乳幼児(6か月~4歳)接種体制について

### 審議会での議論

- 2022年7月以降、小児の重症・中等症の割合は5歳未満が約6割を占めている
- 米国において、モデルナ社・ファイザー社は、オミクロン株流行下において、**発症予防効果**を確認したこと及び安全性に大きな問題がなかったと臨床試験結果に基づき報告している



### 接種体制にかかる準備の開始

上記の議論を踏まえ、乳幼児を対象とし、**複数回接種**を行うことを前提に、自治体における実施体制及び接種医療機関等の確保にかかる事務連絡が9月2日に発出された